

一日一章 みことばを聴こう

9月1日(金) ヨハネの黙示録 第9章

- 1、神さまは、苦難の中にあるみ民のためにどんな配慮をしてくださっていますか(4節、7章3節)。なぜ、いなごの災いでは苦痛を与えるだけで人を殺さず、騎兵の災いのときも人類の三分の二を残されたのでしょうか(5、18節、ペテロ第二3章9節参照)。
- 2、残された三分の二は、人類に下った大きな災いを思っただうすべきであったと思いますか(20、21節、ローマ書2章4節参照)。
- 3、あなたは、本当に悔い改めていますか。

9月2日(土) ヨハネの黙示録 第10章

- 1、なぜ神さまは、第六のラツパと第七のラツパの間に、中間的挿入の幻を見せられたのでしょうか。またなぜ、七つの雷の語ったことを封じられたのでしょうか(ローマ書9章15、18節参照)。御言はなぜ、口に甘く腹に苦いのでしょうか。
- 2、ヨハネは、巻き物を食べると口に甘いが腹には苦いと知りながら、それを食べよ、と命じられたときどうしましたか。
- 3、あなたは、御言をどのように味わっていますか。

9月3日(日) ヨハネの黙示録 第11章

- 1、測りざおで測ることは、所有者を明示することを示しています。神さまが礼拝者まで測られたことは、神さまが、彼らをどうしようとしたことを示していますか。二人の証人(教会)が殉教したとき、神さまは彼らをどうされましたか(11、12節)。すべてのものを支配するお方はどなたでしょうか(15、17節)。キリストが王になられるとき、主は何を開かれますか(19節)。何のためでしょうか。
- 2、二人の証人(教会)が与えられている使命は何ですか(3、7節)。
- 3、あなたは、天上でキリストがすでに王となっておられることを信じて、今、主の証しに励んでいますか。

9月4日(月) ヨハネの黙示録 第12章

- 1、女は霊のイスラエル、また教会、竜はサタンを示しています。メシヤ、キリストはどのように生まれ、今はどこにおられますか(5節)。神は教会を、どこで、どの期間、どのように養ない、また守られていますか(6、13、14、16節)。
- 2、天には今、私たちが神の前に訴える者がいるでしょうか(8、10節)。地上でサタンに打ち勝つ力はどこにあるのでしょうか(11節)。
- 3、あなたは、子羊の血とあかしの言を固く持っていますか。

9月5日(火) ヨハネの黙示録 第13章

- 1、一節の獣は国家権力を象徴していると考えられますが、そのけがしことも活動も、また聖徒にたいする迫害も、結局はだれのゆるしの下にあるのでしょうか(5、7節)。本当の主権者はだれですか。
- 2、「いのちの書に名を記されている」私たちは、神でないものを拝むように強要されたときどうするべきでしょうか(8、10節)。
- 3、あなたは日本の国を愛していますか。そのことと、天皇や、日本国に神にたいするような絶対服従をささげることとは同じことでしょうか。

9月6日(水) ヨハネの黙示録 第14章

- 1、聖徒を守るしるしは何でしょうか(1、13章7節を参照)。神さまは、主に従わぬ者をどうされますか(10、11、19、20節)。イエス・キリストはご自分に頼る者をどうしてください(4、12、13、14、16節、マタイ13章30節参照)。
- 2、聖徒の身分と(1節)、行動と(3節)、特色(4、5節)、をあげてみましょう。また、その終わりを思いみましょう(12、13節)。主に従わず、この世の中の生活のために獣の刻印を受ける者(生活のために世の力に従う者)はどうされますか(9、11節)。
- 3、あなたは額に、子羊と御父の名をしるしていますか。獣の刻印をつけていませんか。

9月7日(木) ヨハネの黙示録 15章

- 1、七つの鉢の災害は、だれのところから出ていますか(1、5、6、7節)。七つの鉢が御使いの手に渡された後、だれか聖所に入って、そのさばきをとどめることのできる者はいるでしょうか(8節)。
- 2、獣と、その像と、その名を示す数字に打ち勝った聖徒たちは何の歌を歌いましたか(3、4節)。そのことは、旧約の救と新約の救いがあるような関係にあることを示していますか(使徒20章27節、ヘブル11章40等)。
- 3、あなたは新旧約聖書全体を読み、御言に示されている救いの全体を受け入れていますか。

9月8日(金) ヨハネの黙示録 16章

- 1、七つの黄金の鉢のさばきは、だれによるものですか(1節)。そのさばきは不変でしょうか(5〜7節)。そのさばきには限界が設けられていましたか(6、8、8章7、8節等参照)。なぜでしょうか。何がさばかれたときに「事は成就した。」と云われたのですか(17節、エペソ2章2節参照)。
- 2、最後の審判を受けた人々は、その災害によって悔い改めるに至ったでしょうか(9、11節)。
- 3、あなたは「今は恵みの時、今は救いの日」(第二コリント6章2節参照)であることを、どれだけ自覚して悔い改めに励んでいますか。

9月9日(土) ヨハネの黙示録 第17章

- 1、サタンに動かされた地上の今の全勢力は、子羊キリストに勝てたでしょうか(14節)。大淫婦はどのようにして倒されますか(16節)。そのさばきを究極的に支配しておられるのはどなたですか(1、17節)。
- 2、主に忠実な者は、どんな苦しみを覚悟し、どんな恵みを期待できるのでしょうか(6、14節)。
- 3、あなたは神にたいする貞節を守っていますか。神以外のものに心を寄せる霊的不品行に陥っていないでしょうか(2、6、14節)。

9月10日(日) ヨハネの黙示録 第18章

- 1、主は淫行と罪の源である大バビロンをどうされますか(2、3節)。何のためですか(20節)。
- 2、大バビロンはなぜ滅ぼされたのでしょうか(3、5、7、23、24節)。彼女の滅亡を見て、王たち、商人たち、海運業者たちが泣き悲しみますが、なぜでしょうか(9、11、19節)。
- 3、あなたは、4節の御言を、どう聞きましたか。

9月11日(月) ヨハネの黙示録 第19章

- 1、私たちの神、主は悪をなす者をどのようににさばかれますか(1、2、3、15、17節以下)。小羊なるキリストは、教会をどのようにに迎えますか(6〜9節)。神に敵対する者にたいしてはどうされますか(11〜21節)。
- 2、小羊の花嫁は何をまもってみ前に出るのでですか(7、8節)。聖徒たちの「正しい行い」は、クリスチャンが自分の努力で行なう良い行ないでしょうか。主が恵みをもって備えられるものでしょうか。(エペソ2章10節参照)。
- 3、あなたは「私たちの神、主が王となられた。」。ことに感謝していますか。

9月12日(火) ヨハネの黙示録 第20章

- 1、サタンをも支配しておられる方はどなたでしょう(1〜3、7〜10節)。キリストは、忠実な聖徒たちをどんな祝福にあずからしてくださいますか(4〜6節)。
- 2、キリストとともに、千年の間、王となることを許された人々はどんな人々でしたか(4、13章15、17節参照)。どんな人が、第二の死に打ち勝ち(6節)、どんな人々が第二の死に投げこまれますか(12〜14節)。
- 3、あなたは、自分の名前がいのちの書に記されていると確信できますか。なぜですか。

9月13日(水) ヨハネの黙示録 第21章

- 1、新天新地では、神さまは人々とどんな関係をもつてくださいますか(3、4節)。新しいエルサレムでは、人は神とどのように出会うことができるのですか(22節)。ここでは、神は人々をどのように導かれますか(23節)。この新しい創造を完成されるのはだれですか(6節)。
- 2、だれが、どんな神さまからの祝福にあずかることができるのでしょうか(3、4、5、6、7、24節)。この祝福にあずかることができなはどんな人々ですか(8、27節)。
- 3、あなたにとって新天新地、また新しいエルサレムは何でしょうか。

9月14日(木) ヨハネの黙示録 第22章

- 1、人々を生かすいのちの水は、どこに源を發していましたか(1、2節)。都に平安を与えられたのはどなたですか(3〜5節)。新しいエルサレムの祝福を携えてこられる主イエス・キリストはいつおいでになりますか(7、12、20節)。
- 2、人々は何により、だれを仰ぎ、だれに任せ、何の光の中でいのちと平安を得ることがができるのですか(17、20節)。神のことばはどのように受けとめるべきですか(10、18、19節)。
- 3、あなたの日毎の祈りは何ですか。

9月15日(金) ホセア書 第1章

- 1、ホセアとゴメルとの関係を神さまとイスラエルの関係に置きかえて、神さまがイスラエルにどんな思いをもっておられたかを考えてみましょう。神さまはイスラエルを憎んでおられたのでしょうか。愛しておられたのでしょうか。
- 2、ゴメルのしたこととその三人の子の名前から、神にたいする不信がどんな結果を生むことになるか、考えてみましょう。
- 3、イエス・キリストを信じる以前のあなたと信じてからのあなたの姿を、エペソ書2章によって比べてみてください。

9月16日(土) ホセア書(水) 第2章

- 1、主は姦淫の女イスラエルをどうされましたか。主が彼女に望まれたことはどんなことでしたか。
- 2、姦淫の女イスラエルは、夫なる主によってどんな祝福を経験できるはずだったのでか。それなのに、彼女はどんなことに心を向けましたか。
- 3、あなたが自分の信仰生活でいちばん大切にしているのは何ですか。主の前における自分の立派な信仰ですか。信仰によって受ける恵みですか。主御自身との交わりですか。

9月17日(日) ホセア書 第3章

- 1、「夫に愛されながら姦淫している女を愛せよ。」とホセアに命じられた主は、どのようなイスラエルをどのように愛されましたか。
- 2、ホセアの愛によって回復された姦淫の女は、どうするよう命じられていますか。私たちの主にたいしてとるべき態度はどうでしょうか。
- 3、主は、どのようなあなたをどのように愛してくださっていますか。よく考えてみましょう。

9月18日(月) ホセア書 第4章

- 1、主がイスラエルの罪を責めるとき、まず誰を責められましたか(4、5、14節)。何故ですか。どうしても悔い改めない者を主はどうされますか(17〜18節)。
- 2、イスラエルの罪はどこからきたのでしょうか(1、4〜6節)。まず、どこから正さなければならぬのでしょうか。
- 3、あなたの生活全体は何を基盤にして営まれていますか。

9月19日(火) ホセア書 第5章

- 1、主はイスラエルをさばかれましたが、何故ですか。いつまでですか。何のためですか(15節 参照)。
- 2、イスラエルの罪を数え上げ、その根はどこにあるか(4節)を考えてみましょう。
- 3、主は今日、あなたに何を語られましたか。

9月20日(水) ホセア書 第6章

- 1、ホセアの主はどんな主ですか。罪人をどのよう処置し、悔い改める者をどうされる主でしょうか(1〜3節参照)。
- 2、イスラエルが重んじたことは何で、主が重んじられたことは何でしたか(6、7節)。
- 3、あなたの主はどんな主ですか。ホセアの主と同じでしょうか。

9月21日(木) ホセア書 第7章

- 1、主はイスラエルをいやすためにどんなことをされましたか(1節)。彼らがむなししいものに頼ろうとするときどうされましたか(11、12、15節)。主はイスラエルをどうされようとしたのですか(13節)。
- 2、イスラエルの目は主とその恵みに注がれていましたか(2、7、10、13、14節)。彼らの心は何にとらわれていましたか。
- 3、あなたは、いつも自分の罪と弱さをすなおに認めて、主に立ち返り、主を尋ね求める備えができていますか。

9月22日(金) ホセア書 第8章

- 1、イスラエルの歩みの中では、物事を決める最後の決定権は誰だと考えられていたことになりましたか(4節)。主が望まれていたことは何だったのでしょうか。
- 2、イスラエルの宗教的な行動(11、13、14節)、主の民であるという主張(2節)にもかかわらず、主が彼らをさばかれたのは何故ですか。
- 3、あなたの信仰は神さまに自分を任せる信仰ですか。自分に神を引きつけようとする信仰ですか。

9月23日(土) ホセア書 第9章

- 1、主はイスラエルをどのようにご覧になりましたか(10節)。その主の愛に叛くイスラエルをどうされますか。
- 2、イスラエルの示す根本的な罪は何でしたか。(1、10、17節)。その結果はどうでしたか。
- 3、主は私たちをどう見ておられますか(例えばイザヤ43章4節)。あなたは主にどうお答えするべきですか(ローマ12章1、2節)。

9月24日(日) ホセア書 第10章

- 1、主は、主と偶像の間で心を分裂させている二心のイスラエルにどうされましたか。ベテ・アベンの子牛を打たれたのは何のためであったと思いますか。
- 2、イスラエルは豊かになると何をしましたか(1節)。彼らの心はどこに向いていましたか(2、4、5節)。彼らの頼りとしていたものは何でしたか(13節)。その結果は?
- 3、あなたの心の焦点はどこに定まっていますか。

9月25日(月) ホセア書 第11章

- 1、イスラエルが幼かったときの主の愛(1〜2節)、イスラエルが歩くことを学んでいるときの主の愛(3〜4節)、イスラエルをさばかれるときの主の愛(8〜9節)、そして主の救い(10〜11節)を考えてみましょう。(注アデマとツェボイムはソドムとゴモラと同じように火と硫黄によって滅ばされた町です。)
- 2、主に愛されたイスラエルの主にたいする姿勢はどうでしたか。なぜこんな信仰な歩みをしたのだと思いますか(3節参照)。
- 3、あなたは、自分にたいする主の愛をどの程度、知っていますか。

9月26日(火) ホセア書 第12章

- 1、主はどんなときにイスラエルのヤコブに御自身をあらわされましたか(創世記28章10、22節)。イスラエルに「わたしはあなたの神、主である。」と云われたのはどこでしたか(9節)。そのときイスラエルはどんな状態にいましたか。そして、主はイスラエルをどうされましたか(13節)。
- 2、イスラエルは外国にたいし(1節)、取引相手にたいし(7節)、兄弟にたいし(3節)、神にたいして(3、4節)、どんな姿勢で臨みましたか。
- 3、あなたは、神と人にたいしてどんな姿勢で接していますか。

9月27日(水) ホセア書 第13章

- 1、主は、イスラエルが奴隷であったエジプトで(1節)、人の住めない荒野の苦難の道で(5節)、また、さばきを受けてよみと死に投げ込まれたところで(14節)、イスラエルにとつてどんな神でしたか。
- 2、イスラエルは何に従い、何によって偶像を作り(2節)、どうして主を忘れ(6節)。どのように王をたてましたか(10節)(サムエル第18章5、7、20節参照)。
- 3、あなたは、ありのままの主御自身を受け入れていますか。神についての自分の考えに固執していますか。

9月28日(木) ホセア書 第14章

- 1、真実な悔い改めをもって主に立ち返る者に主はどんな恵みを与えられますか(4〜8節)。
- 2、ホセアの勧めによって、本当の悔い改めの特色を考えてみましょう。
- 3、あなたは真実な悔い改めをしましたか。まだでしたら今、悔い改めの祈りを捧げましょう。悔い改めた人は、主の恵みをどこまで経験していますか。すでに与えられている恵みを感謝し、さらに高い祝福を求めましょう。

9月29日(金) ヨエル書 第1章

- 1、主は、いなごごばったの災害をとおして、主の民をどうしようとされたのでしょうか(14、19節)。
- 2、この頃、ユダの民はどんな状態でしたか(5節)。彼らはどうなるべきだったのでしょうか(14節参照)。
- 3、あなたは「酒」(この世の楽しみ)に酔っていませんか。主は今日、どんなことを語ってくださいましたか。

9月30日(土) ヨエル書 第2章

- 1、主は悔い改める者にたいしてはどんな主で(13、14節)、どんな救いを与え(18〜27節)、終わりの日にどんな恵みを与えられますか(28〜32節)。
- 2、主の御前になすべき緊急事は何ですか(12、13、15〜17節)。
- 3、あなたは御霊を受け、主を告白し(第一コリント12章3節)、主が共におられることを知っていますか。